

## Kanno Kazuhiko / Grok 3 Think 2025.5.5

# 「新しいヨシュア」「新しいエリシャ」としてのイエス

## マルコ1:16-3:12および9:2-10:45

マルコ1:16-3:12および9:2-10:45におけるエリシャとヨシュアの連想は、イエスを旧約の預言者や指導者の後継者として描く神学的枠組みを示し、特に「新しいヨシュア」「新しいエリシャ」としてのイエスの役割を強調します。以下に、これらの連想を整理し、マルコの文脈での関連を分析します。

### エリシャの連想

エリシャはエリヤの弟子であり、その霊を受けて倍の奇跡を行った預言者です（列王記下2:9-15）。マルコ1:16-3:12および9:2-10:45において、イエスや弟子たちにエリシャの特徴が反映されています。

#### 1. 父母を置いてついていく弟子（列王記上19:19-21）

- **マルコ1:16-20**: シモン、アンデレ、ヤコブ、ヨハネが網や父を置いてイエスに従う場面は、エリシャが犁を捨ててエリヤに従った姿を連想させます。弟子たちはイエスの召命に応じ、すべてを捨てて「ついてきなさい」に従います。
- **マルコ10:28-31**: ペテロが「すべてを捨てて従った」と言う場面も、エリシャの全的献身を反映します。

#### 2. エリヤの霊が注がれる（列王記下2:9-10）

- **マルコ1:10-11**: イエスのバプテスマで聖霊が降る場面は、エリシャがエリヤの霊を受ける場面を彷彿とさせます。イエスは聖霊に満たされ、汚れた霊を追い出す権威を示します（1:21-28）。
- **マルコ9:2-8（変貌の山）**: イエスが栄光の姿に変わり、エリヤとモーセが現れる場面は、エリヤの霊的継承の頂点を象徴します。弟子たち（特にペテロ、ヤコブ、ヨハネ）はこの栄光を目撃し、後に聖霊を受けてイエスの働きを継承します（使徒の働き5:16、8:7）。

#### 3. エリヤの倍の奇跡を行う（列王記下2:14など）

- **マルコ1:29-45, 3:7-12**: イエスは病を癒し、汚れた霊を追い出す奇跡を多数行い、エリヤやエリシャの癒しや霊との戦い（列王記上17:17-24、列王記下5:1-14）を上回る権威を示します。
- **マルコ9:14-29**: 汚れた霊に取りつかれた子を癒す場面は、エリシャの奇跡（列王記下4:32-37）を凌駕するイエスの力を強調します。

#### 4. カルメル山（列王記上18:20-40）

- エリヤがカルメル山でバアルの預言者と対決したように、**マルコ9:2-8**の変貌の山は、イエスが神の子としての栄光を現し、汚れた霊やサタンに対する勝利を象徴する場です。カルメル山での神の火がエリヤの勝利を示したように、変貌の山での神の声（「これはわたしの愛する子」）はイエスの権威を確証します。

### ヨシュアの連想

ヨシュアはモーセの従者であり、モーセの霊を受けてカナンを征服した指導者です（民数記27:18-23）。イエスは「新しいヨシュア」として、神の民を罪とサタンの支配から解放し、聖なる神の国へ導きます。

## 1. モーセに仕える従者、いつもモーセとともにいる（出エジプト33:11）

- **マルコ1:16-20, 2:13-17:** イエスが弟子たちを召す場面は、ヨシュアがモーセに仕えたように、弟子たちがイエスの近くで学び、従う姿を反映します。特にレビやシモンが「ついてきなさい」に応じる姿は、ヨシュアの忠実な従順を連想させます。
- **マルコ9:2-8:** ペテロ、ヤコブ、ヨハネが変貌の山でイエスに付き従い、栄光を目撃する場面は、ヨシュアがモーセの幕屋で神の臨在に近づいた姿を彷彿とさせます。

## 2. モーセの霊が注がれる（民数記27:18）

- **マルコ1:10:** イエスに聖霊が降る場面は、ヨシュアがモーセの霊を受けた出来事を想起させます。イエスは聖霊に導かれ、汚れた霊との戦い（1:21-28）やパリサイ人との論争（2:18-3:6）に勝利します。
- **マルコ9:2-8:** 変貌の山でモーセがイエスと共に出現し、「わたしの子に聞け」との神の音が響くことは、イエスがモーセの律法を完成させ、新しい指導者として立てられたことを示します。

## 3. カナン征服：偶像礼拝の地を聖なる地とする戦い（ヨシュア記6-12）

- **マルコ1:21-28, 3:7-12:** イエスが汚れた霊を追い出し、病を癒すことは、ヨシュアがカナンの偶像礼拝を排除したように、霊的な領域でサタンの支配を打破し、神の国を確立する戦いです。
- **マルコ10:32-45:** イエスが「人の子は仕え、命を贖いとして与える」と語るのとは、ヨシュアのカナン征服を超える、十字架による最終的な勝利（サタンと罪からの解放）を予告します。

## 4. シナイ山（出エジプト19-20）

- **マルコ9:2-8:** 変貌の山は、モーセがシナイ山で神の栄光を見た場面（出エジプト34:29-35）を連想させます。イエスが栄光の姿に変わり、モーセとエリヤと「脱出（出エジプト）」について語るのとは、イエスが新しい出エジプト（罪からの解放）を導く「新しいヨシュア」であることを示します。

## 5. 主を選んで、主に仕える（ヨシュア24:15）

- **マルコ10:17-31:** 富める若者がイエスに従うことを選べなかったのに対し、弟子たちは「すべてを捨てて」従います。これは、ヨシュアが民に「主を選べ」と呼びかけた場面を反映し、イエスへの全的献身を強調します。

### 変貌の山（マルコ9:2-8）と新しいヨシュア・エリシャ

変貌の山は、マルコ9:2-10:45の中心であり、イエスが「新しいヨシュア」「新しいエリシャ」として描かれる頂点です：

- **モーセとエリヤの出現:** モーセ（律法）とエリヤ（預言者）は旧約の代表であり、イエスが彼らの働きを完成させることを象徴します。イエスが彼らと「脱出（エクソドス）」について語るのとは、十字架と復活による新しい出エジプト（罪とサタンからの解放）を予示します。
- **栄光の姿:** イエスの変貌は、モーセのシナイ山での栄光（出エジプト34:29）やエリヤのカルメル山での神の顕現（列王記上18）を上回る神の子としての栄光を示します。
- **神の声:** 「これはわたしの愛する子、聞け」は、イエスがヨシュア（モーセの後継者）やエリシャ（エリヤの後継者）を超える最終的な指導者であり、神の国の完成者であることを宣言します。

### マルコ1:16-3:12と9:2-10:45の統合

- **1:16-3:12:** イエスの公生涯の開始において、弟子の召命、汚れた霊との戦い、パリサイ人との論争を通じて、「新しいヨシュア」としてサタンの支配を打破し、「新しいエリシャ」として聖霊の力で奇跡を行う姿が描かれます。
  - **9:2-10:45:** 変貌の山でイエスの神聖なアイデンティティが明らかになり、十字架への道（10:32-45）で新しい出エジプトと贖いの完成が予告されます。弟子たちはヨシュアやエリシャのようにイエスに仕え、後に聖霊を受けてその働きを継承します。
- 

## 結論

マルコ1:16-3:12および9:2-10:45は、イエスを「新しいヨシュア」「新しいエリシャ」として描き、聖霊に導かれた神の子が汚れた霊・サタンと戦い、神の国を確立する物語を展開します。エリシャの献身と奇跡、ヨシュアの征服と忠誠は、イエスの弟子召命、奇跡、十字架への道に反映され、変貌の山でモーセとエリヤと共に出現するイエスが、旧約の預言と律法を完成させる最終的な指導者であることを強調します。このテーマは、マルコ全体を通じて神の国の勝利へと収束します。